

事業所名

放課後等デイサービス ビアンカ

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

2 月

8 日

法人（事業所）理念	一人ひとりの個性を尊重し、子供たちが安心して過ごせる居場所（環境）を提供します。子供たちの興味関心を尊重し、主体的に行動し自ら考え学ぶことができる力を築いていきます。遊びを通して社会性を育み、学びを通して自立心を高め、社会参加への一歩を踏み出す力を養います。					
支援方針	発達段階や個性に合わせて子ども一人ひとりに合わせた支援を行います。遊びや体験活動を通して、得意なことや興味のあることから学習や生活の場を広げ、社会性やコミュニケーション能力の向上を図り自信をもって行動できるように支援します。また保護者の方々とも連携しお子さまの成長を共に支えていきます。					
営業時間	9 時	0 分から	19 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	健康な心と体を育むお手伝いをします。意思表示がむずかしい子どもたちの発達の過程、特性を配慮し小さなサインから心身の異変に気づけるよう支援をします。食事・睡眠・排せつ・着替えなど、基本的な生活リズムを身につけ、安全な生活を子ども自身で送れるよう練習を重ねます。全身の清潔と全身状態の観察を行い、衣服の着脱の練習等の日常生活の援助を支援します。クッキング等の食育活動では、衛生面も意識しながら自分で盛り付けたり、異なる形や味の食べ物を食べる経験を積みます。				
	運動・感覚	正しい姿勢の保ち方を身につけ、運動機能・筋肉の向上を図ります。事業所前広場での鬼ごっこやボール遊び、公園やお出かけ先での遊具遊びなどを通じた様々な運動感覚の成長を支援します。また室内では、レゴ、ラキュー、パズル、粘土遊び等の細かい作業で空間を認識したり指先のトレーニングに繋がるよう支援します。本人の保有する視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう見守りを行います。				
	認知・行動	視覚・聴覚・触覚などの感覚を使い認知機能の発達を支援します。屋外で捕まえた虫の飼育や、季節のお野菜の栽培、収穫体験も行います。生き物の世話をを行うことで役割ができ、自分のことだけではない「責任感」を持つことができ、自然や生命の尊さ、儚さについてなど様々な角度から一緒に体験し学びます。農業体験では実際に野菜がどのようにして育つのか、自分で収穫することで植物や自然への知識が深まり、食べることの喜びやおいしさを体験し、繰り返すことで感覚をやしない、自発的行動を芽生えさせます。				
	言語コミュニケーション	言葉や様々なコミュニケーションを学び、言葉だけでなく文字や記号、ジェスチャーなどを用いて相手の話を理解し、自分の気持ちを言葉にできるよう経験を重ねます。自己を表現する手段として身振りや表情を変化させることを楽しみます。自己表現が他者に伝わる喜びを知り、子供個人の発達段階に合わせた介入を行い、成長発達を促します。				
	人間関係社会性	集団活動への参加や、遊び中での心地のいいコミュニケーションの取り方、他者との信頼関係の築き方を学びます。。子どもたちの様子を伺いながら協調性や思いやりを育むお手伝いをします。また、公共施設へのお出かけ、市内巡り、買い物支援など、人との関りや活動を通して、人間関係・社会性を身につけ、自立に向けた練習を実践的に学びます。集団で発生する様々な人間関係において相手も自分も大切にしたい行動を選択できるように一緒に考え、寄り添います。				
家族支援	日常の様子を利用毎にお持ちいただく連絡ノートやラインにて適宜報告します。定期的な面談、家庭訪問により話し合う機会を作ります。	移行支援	進路の選択についての相談援助および準備の支援、また地域生活の場や育ちの場、学校との情報交換を行います。必要に応じてご家族や学校と連絡を取り合い、進路の選択について話し合う機会を作ります。			
地域支援・地域連携	必要に応じて学校や学童等の関係機関で役割分担を行い情報を共有します。地域の行事があれば積極的に参加するようにします。	職員の質の向上	日々の支援の共有を行い、どのような支援が最適かなど、定期的な会議を実施します。定期的な社内外の研修を行い支援の質の向上に努めます。			
主な行事等	季節の行事(夏祭り、ハロウィーン、節分、クリスマス等) 近隣施設、公園へのお出かけ クッキング等食育プログラム、農業体験					